



## 年頭のご挨拶

代表取締役社長  
**高橋 朋道**

皆様、明けましておめでとうございます。

お取引先様の皆様におかれましては、平素より弊社製品をご愛顧賜り心から厚く御礼申し上げます。2024年の年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年4月に当社社長に着任いたしました。非常に刺激的な9か月でした。それまでおりました上海に比べ日本のスーパーは彩り鮮やかで、コンビニは痒いところに手が届くような品揃え、外食店では料理がリーズナブルでとても美味しい、日本の食文化のクオリティとサービスの素晴らしさを再認識しました。そして日本の食文化に関わる食品容器業界に初めて携わることとなり、見るもの聞くこと全てが新鮮で、日々新しいことを学んでおります。これら新しく学んだこと、感じたことをこれまでの経験と合わせてお取引先様からより一層支持されるデンカポリマーにしております。

さて、近年の円安進行が食料品、燃料、そして樹脂原料価格など物価上昇を招き、私どもの市場にも大きな影響を与えています。さらに昨年5月には新型コロナウイルスが第5類となり、私たちの生活も大きく変わりました。そして流通業界でもM&Aや事業統合などがいくつも見られました。このような激動の時代の中で私どもメーカーに求められるのが環境対応と市場にマッチした新製品です。

製品ではCO2排出量を抑制した軽量嵌合容器が市場で好評を得ています。またバイオプラ素材を使用した「プラピス」、卵殻を使用した「プラティエコ」に加え、環境に配慮した新素材・新製品の開発に注力しています。

そしてデンカグループのポリスチレンメーカーである東洋スチレンが進めるスチレンケミカルリサイクルの実証プラントが4月には稼働する予定です。バージン原料と同等の性能が得られ安全性の高いリサイクルが可能となる仕組みです。当社もISCC PLUS認証の申請を行っています。市場にケミカルリサイクルスチレン系容器を訴求し、将来の社会実装に向けて対応していきたいと考えています。

一方、昨年後半に‘輸送に強い内嵌合ポケット容器’として「Dジャーニー」をリリースしました。当社の誇る嵌合技術を用いて、開け閉めしやすい事、漏れにくい事、そして運びやすい事などお客様から高い評価を得ています。今後も更に市場の声に耳を傾け、お客様のニーズに対応した新製品を開発し、販売してまいります。

今年も今までと同様、大きな変化が起こることでしょう。大きな変化があっても「食の安全」を一貫して守り、お取引先様の皆様と共に歩む企業を目指し、社員一丸となってこれまでも増して進んでまいりたいと思います。

最後に、昨年同様、皆様の変わらぬご支援、ご鞭撻、そしてご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。そして皆様のご健勝とご繁栄をお祈りしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。